

連番	大問	中間	小問	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
①	1 27点	(1)		知識理解	○2つのうち、1つを正しくかいている。	2	○2つとも正しくかいている。 <div>①  ② </div>	4
②		(2)		思考判断	○「高速道路」に近いことを書いているが、交通の利便性については書いていない。 ・高速道路に近いから。 ○一般道路のことや、住宅地との距離のことについて書いている。 ・道路がそばにあるから。 ・家が集まっているところからはなれているから。	5 3	○「高速道路」(インターチェンジ) が近い等の交通の利便性について、理由を挙げて考えを書いている。 ・高速道路(インターチェンジ) が近くにあるので、原料やせい品を車で運ぶのに便利だから。	8
③		(3)		技能表現			○地図上の学校の位置を、土地利用の面から読み取ることができる。 ・エ	5
④		(4)		技能表現	○地図から読み取ったことを、どちらか1つ書いている。	3	○地図から読み取ったことを、2つとも書いている。 (1つめ)・田 ※「田んぼ」「水田」でも可 (2つめ)・米 ・お米	6
⑤		(5)		関心意欲態度	○自分の住んでいる市町村のおおまかな土地利用か、自慢についてのどちらか1つを書いている。(転入生については、以前住んでいた市町村についての記述でもよい。) ・〇〇市には、工場がたくさんあります。 ・〇〇町のからいもは、おいしいのでじまんです。	2	○自分の住んでいる市町村のおおまかな土地利用と自慢(特産品、施設、自然等)について書いている。(転入生については、以前住んでいた市町村についての記述でもよい。) ・〇〇市には、お店や家がたくさん集まっている場所があります。大きな図書館には本がたくさんあり、わたしたちのじまんです。 ・〇〇町には、畑がたくさんあります。そこでとれるにんじんは町のとくさん品になっています。	4
⑥	2 24点	(1)		知識理解	○水道水との関連が書かれていない。 ・水をきれいにするところ。 ・水の砂やごみを取りのぞくところ。 ・水を消どくするところ。	2	○浄水場の働きを、水道水との関連をとらえて書いている。 ・ダム(川)や地下水から送られた水の砂やにごりを取りのぞき、消どくをして、きれいな水道の水をつくる ところ。	3
⑦		(2)		技能表現			○水道使用量の変化をとらえている。 ・ふえている。 ・多くなっている。	5
⑧		(3)		技能表現			○水道使用量が増加した理由を、人口の増加と関連付けてとらえている。 ・人口がふえたから	6
⑨		(4)		思考判断	○森林の「洪水防止」,「渇水防止」,「水質浄化」というはたらきについて書いているが雨や天候との関係をとらえていない。 ・水をため、こう水をふせぐ。 ・水をきれいにする。 ・水を少しずつ川や地下に送る。	5	○森林の「洪水防止」,「渇水防止」,「水質浄化」というはたらきについて、雨や天候との関係をとらえて書いている。 ・大雨のときは、水をたくわえ、こう水をふせぐ。 ・雨水をたくわえ、日でのときでも少しずつ川に水を送る。 ・雨水がしみこみ、地下できれいな水になる。	7
⑩		(5)		関心意欲態度	○自分にできることを書いているが、具体的でない。 ・水を大切にする。 ・水のむだづかいをやめる。	2	○自分にできることを、具体的に書いている。 ・手を洗うときは、水道の水を出したままにしない。 ・歯を磨くときは、水道の水を出したままにしない。 ・雨水をためて、花壇の水やりをする。	3
					【授業改善の視点】 水資源の確保と自分たちの生活とのかかわりについて、飲料水を供給する仕事に携わっている人に聞き取り調査をしたり、浄水場などの施設を見学した後に、自分たちの学校版環境ISOの取組について話し合い、資源の有効活用等について意見を出し合うような言語活動を積極的に取り入れる。			

連番	大問	中間	小問	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点	
⑪	3 2 4 点	(1)		知識理解	○ごみの分別について理解して書いている。 ・ごみ収集のとき、集めやすいようにするため。 ・ごみを処理しやすいようにするため。	2	○資源の有効活用の必要性和ともに、ごみ減量の必要性を書いている。 ・ごみをへらし、ごみ処理の費用をへらすため。 ・ごみをへらし、しげんをせつやくするため。 ・リサイクルをして、ごみをへらすため。	3	
⑫		(2)		知識理解	○ごみ出しについて、困ることを書いている。 ・ごみぶくろが破れている。 ・ごみぶくろがしまっていない。	2	○現在のごみ出しに関する課題を書いている。(地域の実態に即して) ・ごみが分別されていない。 ・きけん物が正しいしよりをしないまま、まざっている。 ・指定ぶくろに入れていない。 ・期日をまもらない。	3	
⑬		(3)	①	技能表現			○看板から第一月曜日を読み取っている。 ・毎月第一月曜日 ※月曜日(木曜日)の解答も可(地域の実態に即して)	5	
⑭			②	知識理解	○気を付けることを書いているが、具体的でない。 ・マナーをまもって出す。	2	○地域の実態に合わせて、あきかんの出し方で気を付けることを、具体的に書いている。 ・アルミとスチールを分けて出す。 ・決められたふくろに入れて出す。 ・期日をまもって出す。 ・かんをあらって出す。	3	
⑮		(4)	①	思考判断	○ごみの量又はリサイクルの量のどちらか一方について書いている。 ・1人が1日出すごみの量がへってきている。 ・1人が1日にしているリサイクルの量がふえてきている。	3	○2つのグラフを関連付けて、分かったことや考えたことを書いている。 ・ごみを出す量はへり、リサイクルの量はふえている。 ・リサイクルの量がふえたので、ごみを出す量はへっている。	7	
					【授業改善の視点】廃棄物の処理とリサイクルの関係について、仕事に携わっている人への聞き取りや集めた資料を基に、自分たちの家庭や学校におけるリサイクル等に関する取組について考え、意見を発表し合う言語活動を積極的に取り入れる。				
⑯			②	関心意欲態度	○ゴミ減量化のアイディアについて記述しているが、身の回りの生活に関連していない。 ・ペットボトルをリサイクル商品にする。 ・リサイクルできるような材料で商品を作る。	2	○自分にできるごみ減量化のアイディアを、具体的に書いている。 ・牛乳パックをよく洗い、回収している店などに持っていく。 ・資源ごみからつくられた商品を選んで買うようにする。 ・ノートやえんぴつを最後まで使う。	3	
⑰	4 2 5 点	(1)		知識理解	○右の言葉の中から1つを、ア又はイに正しく書いている。	2	○消防指令室が連絡する場所を、次の言葉の中から2つ、正しく書いている。 ・けいさつしょ(けいさつ) ・びょういん ・ガス会社 ・電力会社 ・水道きょく	4	
⑱		(2)		思考判断	○絵に描かれている行動の目的について書いているが、具体的でない。 ①消防しょの人は、火事にそなえて消火せんの点けんをしています。 ②消防しょの人は、火事が起きたときにそなえて、救助くんれんをしています。	5	○消防しょの人は、火災の発生時に対する備えをしていることを、絵を見て具体的に書いている。 ①・消防しょの人は、火事が起きたときに消火せんからきちんと水が出るように点けんをしています。 ②・消防しょの人は、火事が起きたときにすばやく人を助けられるように、つなでわたるくんれんをしています。	8	
					○絵に描かれていることのみ書いている。 ①消防しょの人は、消火せんの点検をしています。 ②消防しょの人は、救助くんれんをしています。	3			
⑲		(3)		技能表現			○グラフを正しく読み取り、表を完成させている。 <table><tr><td>火あそび</td></tr><tr><td>(7)件</td></tr></table>	火あそび	(7)件
火あそび									
(7)件									
⑳			技能表現			○表を正しく読み取り、グラフを完成させている。 	5		
㉑		(4)		関心意欲態度	○防火を呼びかける内容を書いている。 ・みんなでふせごう 気をつけよう ・火事をなくそう ・ひなんくんれんをがんばろう	2	○伝える相手を考え、防火の呼びかけを書いている。 ・あぶないよ その火あそびが 火事のもと ・さわらない ストーブやコンロ ぜったいに	3	